

出雲市市民文化賞

おたずね／文化スポーツ課
☎ 21-6514



市では、「文化活動」「教育活動」「体育活動」「社会活動」の4分野で、市民文化の向上に寄与する優れた功績があり、また、顕著な活動を行われ、今後一層研さんし、その活躍が期待される個人または団体を表彰する「出雲市市民文化賞」を設け、うるおいとゆとりのある文化と教育のまちの創出に取り組んでいます。
平成25年度の「出雲市市民文化賞」に、次の団体・個人の方を表彰しました。

文化活動	功績等
そと その か ぐら ほ ぞん かい 外園神楽保存会	明治14年頃から132年経った現在も地区内外で神楽を奉納し、昭和55年には出雲市無形民俗文化財に指定されました。年々若者の参加が増え、今後も安定した運営・活動が期待されます。
教育活動	功績等
もり わき はる お 森 脇 治 夫	音楽教師として数多くの全国大会に導かれるとともに、県、中国、全国の吹奏楽連盟役員を歴任し、吹奏楽の発展や若い指導者の育成、各団体のレベル向上に尽力されました。その豊富な経験と実績、吹奏楽にかける情熱は今後も「音楽のまち出雲」に欠かせない存在です。
体育活動	功績等
く や あきら 久 家 彰	長年、体育指導委員として市民の健康づくりとニュースポーツの普及、スポーツ少年団本部長として青少年の健全育成に取り組まれるとともに、地区の体育協会会長としてスポーツを通して地域住民の連帯感を高める活動に寄与されました。今後も市民の健康づくりと地域の活力増進への貢献が期待されます。
社会活動	功績等
まか もと せつ あき 坂 本 節 明	長年、鍼灸師としての仕事の傍ら、市、県の視覚障がい者福祉協会等の役員を歴任し、高齢者マッサージ奉仕、視覚障がい者の生活の講演、バリアフリー映画の吹替えなど、障がい者の福祉の向上と社会参加の促進、障がい者に対する理解を深める活動に熱心に取り組まれました。今後も、視覚障がい者の福祉向上と社会参加促進への貢献が期待されます。
たい しゅう し わ かい 大 社 史 話 会	古くから大社町に伝えられてきた史話、史料を集めて文化資料として記録・保存し、郷土の発展とまちづくりに資することを目的として昭和48年に発足。昭和49年に、機関紙「大社の史話」を創刊して以来、現在も発行を継続し、県内外の図書館へも寄贈するなど、広く閲覧に供しています。平成26年には「出雲国大社観光史」（仮称）を発行し、地域の観光振興にも寄与することが期待されます。



トロッコ列車「奥出雲おろち号」 出発進行！

【奥出雲おろち号】マスコットキャラクター「おろち」

運行から16年目を迎えたトロッコ列車「奥出雲おろち号」。旅行や親子活動、遠足などのさまざまな機会に、多くのお客様のご乗車をお待ちしています。

「出雲の国・斐伊川サミット」とは

斐伊川・神戸川流域の2市2町（出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町）で構成し、トロッコ列車を生かした広域観光や文化交流などに取り組んでいます。

「奥出雲おろち号」運行情報

毎週金・土・日曜日と祝日（ゴールデンウィークや夏休み、秋の行楽・紅葉シーズンにはほぼ毎日）JR木次線の木次駅から備後落合駅までを1日1往復します。（日曜日や祝日を中心に、出雲市駅から始発のみ延長運行します。）

運行カレンダー・時刻表は「出雲の国・斐伊川サミット」ホームページをご覧ください。

<http://www.hiikawa-summit.info/> または「おろち号」で検索

☆見どころ満載

- ◆窓ガラスがなく開放感あふれる車内
- ◆新緑から紅葉まで季節ごとに移り変わる景色
- ◆国内では珍しい三段式スイッチバック
- ◆沿線のおいしい味覚



おたずね／出雲の国・斐伊川サミット事務局（政策企画課内）☎ 21-6614



えがおになあれ

(45)

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーパーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

保護司会では こんな取組をしています

出雲地区保護司会(会員85名)では、市内の関係機関や更生保護団体等の皆さんと協力して、犯罪や非行を防止する活動を行うとともに、罪を犯した人達の立ち直りを支援し、安全で安心な明るい地域社会づくりに努めています。

小山町内に保護司会の事務所を開設し、一昨年4月には、法務省から県内2番目の「出雲更生保護サポートセンター」として指定されました。

同センターは、更生保護活動を地域で推進する拠点であり、更生保護に関する相談や支援、関係団体との連絡調整、各種情報の発信などのほか、7月には、「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラを推進するなどさまざまな取組をしています。

また、保護司の有志を中心とした子育て支援グループ「おっちらと」では、子育て中の親や子ども同士の交流

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。



街頭での啓発活動



七夕の飾りつけ(子育てサロン)

を目的として、このサポートセンターを会場に近隣やボランティアの方々の協力を得ながら、ひなまつりや七夕の集い、さつまいもの植え付けや収穫など季節ごとに子育てサロンを開設しています。会場は決して広くはありませんが、おんぼらとした雰囲気の中で活動を続けています。

非行や犯罪のない安全で安心な明るい地域社会が実現できるよう、皆様のご理解と協力をお願いします。

更生保護活動は、ホームページ(出雲地区保護司会)でもお知らせしていますので、一度ご覧ください。

(執筆：出雲地区保護司会)

おたずね／出雲更生保護サポートセンター

〒692-7190(月)～(金)9時～16時

出雲の食材をおいしく食べよう!

今月の食材は

出雲の郷土料理「ちまき(笹巻)」です!

5月5日は端午の節句。端午の節句には、武者人形を飾ったり、菖蒲湯に入ったり、外には鯉のぼりを泳がせ男子の盛運を祈ります。

出雲地域では、端午の節句にこの地域独特の巻き方で巻いた笹巻を食べる風習があります。地域によって端午の節句が月遅れなのは、笹がこの時期にならないと成長しないからとも言われています。餅だんごを笹の串にさし、笹の葉3～4枚を使って団子の先から棒の方へだんだん細くなるように巻いていき、イグサやワラでしばります。巻き方や結び方、食べ方は地域や家庭で違い、さまざまな技巧や工夫がこらされた地域の食文化と言えます。また、笹は強い殺菌力を持っていることから、笹巻は保存食としても重宝されました。

今では笹巻を作る家庭も少なくなっていますが、コミュニティセンターや保育園、幼稚園などでは笹巻作りが行われているところもあります。昔から伝わる郷土料理を次の世代にも伝えていきたいですね。

おたずね／健康増進課 ☎21-6979

ちまき(笹巻)

【材 料】(10本分)

- ・まきの粉…200g
- ・水…200cc
- 〔 きな粉…大さじ2
A 砂糖…小さじ2
塩…少々
- ・笹…50～60枚
- ・イグサ…10本

【作り方】

- ① まきの粉を水で耳たぶ位のかたさにこねる。
- ② のような形にする。それを10個に分ける。
- ③ 笹の若葉1枚にだんごを包み、それを4～5枚の笹で包み込むようにまいて、イグサでほどけないようにしばる。
- ④ 10本ずつ束ねてそれをたっぷりの湯でゆがく。

食べ方：笹をほどいてAをつけて食べる。

レシピ提供 出雲地区栄養士会

【1人分の栄養価(笹巻2本)】

エネルギー142kcal、たんぱく質2.4g、脂質0.4g、塩分0g



Vol.26